

〔ほっかいどうだいがくふぞくしよくぶつえんちようしゃ
(きゆうさっぽろのうがっこうどうしよくぶつがくきようしつ)
※げん みやべさんごきねんかん〕

北海道大学附属植物園庁舎

(旧札幌農学校動植物学教室)

※現 宮部金吾記念館

設計は中條精一郎

北海道大学の前身である札幌農学校は、創立当初は札幌時計台のある北1～2条、西1～2丁目にあった。明治31(1898)年から5ヵ年計画で現在地である北8条キャンパスへと移転した。この建物は、現農学部本館南翼の位置に明治34(1901)年11月3日に竣工したI字型平面からなる動植物学教室のうち、東翼部の植物学講義室および同教授室であった部分を移築したものである。設計は文部大臣官房建築課札幌出張所の文部技師中條精一郎、施工は阿部常治であった。

側面(創建時には背面だった入口)のブローケン・ペディメント内の半円形装飾が特徴的である。内部はかなり改造されているが、階段付近に当時の面影が残る。踏み段の側面には星標が施されている。

宮部金吾の記念館として

昭和8(1933)年から始まった農学部本館の建て替え工事により、動植物学教室は西半分が取り壊され、昭和17(1942)年に現在地に移築された。新管理棟ができるまで、長く園長室、園事務室として使用された。

平成3(1991)年には東翼現建物部分を残して主棟部分を取り壊した。翌年の9月より、札幌農学校2期生で初代植物園長でもあった宮部金吾の遺品を展示する施設として活用されている。

概要

- 木造2階建、鉄板葺
- 建築面積 132㎡



● 建築年代：明治34(1901)年

● 登録年月日：平成12(2000)年4月28日

● 所在地：札幌市中央区北3条西8丁目
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
耕地園ステーション植物園

● お問い合わせ：国立大学法人北海道大学
北方生物圏フィールド科学センター
耕地園ステーション植物園
☎ 221-0066

● 観覧形態：一部内部観覧可

● 観覧時間：9時00分～16時30分
(入園は16時00分まで) (4月29日～9月30日)
9時00分～16時00分
(入園は15時30分まで) (10月1日～11月3日)

● 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、
冬期間(11月4日～4月28日)

● 観覧料：植物園入園料
大人420円(30人以上団体350円)
小・中学生300円(団体240円)

アクセス

地下鉄：さっぽろ駅10番出口、大通駅2番出口、
西11丁目駅4番出口より約800m
バス：「北5西7」(JRバス・中央バス)
「北1西7」(JRバス・中央バス・じょうてつバス)
より約400m

